

12月議会 一般質問 (加藤太一議員)

かたくり温泉ぼんぼの存続を

朝日支所長「住民・関係者の知恵を参考に有効活用検討」

1日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の加藤太一議員は、①かたくり温泉ぼんぼの休止、②美原町地内の交差点の改良について、市当局を質しました。

10日余で地域住民の半数近い署名



設である。

ぼんぼの存続を求める署名は、わずか10日間余りで朝日地域1597人(※)、地区外903人、38自治会長の内23人の会長、老人クラブ会長2人が署名し今も署名が増えている。これは朝日地域の住民の民意ではないか。

まずは、休止とした決定を一旦白紙に戻して、改めて関係者、地域住民の知恵と工夫を結集して温泉施設として残すように再検討をすべきだと思うが。

※朝日地域の有権者数は3820人。署名は12月7日時点で1999人分にまで増えています。

朝日支所長 平成5年に「健康と福祉の里」と位置づけて開設した。

入浴者数が年々減少しており、営業で生じ

美原町地内交差点の安全対策は

問 第四コミセンの横から美原町に抜ける交差点で、この1年間余の間に2人の交通事故死亡者が起きている。

変形した十字路となつているため、ドライバーの歩行者確認がしづらく、歩行者も予測よりも渡るのに時間がかかると思われる。

交通事故防止の安全

性を検討していく。

今年度末で休止を前に、改めて地域住民、関係者の知恵を参考に施設の有効利用の可能性を検討していく。

対策として、市としての安全対策及び横断歩道の設置、照明のLED化など明るさの改善対策について聞く。

11月9日の事故発生



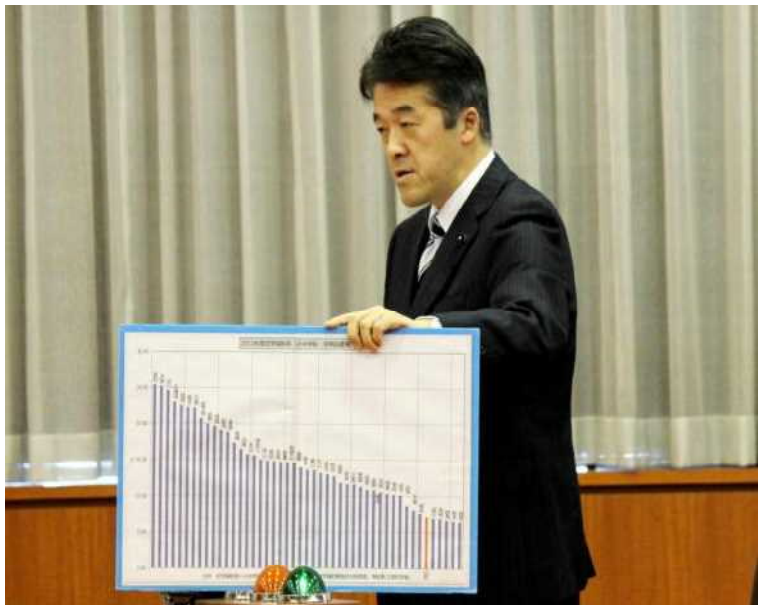
死亡事故が続発した美原町地内交差点

翌日に関係団体による対策会議が行われた。その結果、横断歩道設置と交差点部分の明確化、安全確認を促す路面表示を行うこととされた。

市としてはドットライン及びクロスマークを年内に設置する。

横断歩道の設置は、鶴岡警察署によると早くて来春となると聞いている。

道路照明は、照度は満たしているものの設置から24年経過しており、年度内に更新したい。



12日の県議会予算特別委員会で日本共産党の徹底県議は質問を行い、①自衛隊の新任務派遣命令中止・撤退を、②社会保障制度改悪についての所見、③改正「発達障害者支援法」を踏まえいっそうの支援充実を、④就学支援制度を周知し漏れなく受けられるように、⑤地域主導の再生可能エネルギーで産業振興を、⑥林業労働力の確保と公共建築物木造化の推進、の6点について知事の見解を質しました。

今年も福祉灯油実施

住民税非課税の高齢者世帯など対象

14日に行われた会派代表者会議で、市当局から低所得者等への灯油購入助成を行うと説明がありました。

山形県で「福祉灯油」の補正予算が付けられたことから、鶴岡市でも実施することになりました。

対象者は、住民税非課税世帯であって①高

一世帯5000円の補助で、来年1月下旬から書類発送・受付・審査が始まり、3月市議会の補正予算可決後に口座に入金となります。

